

第23回

# ひだ荘川ふるさと祭り

日時  
平成22年

# 10月17日

開会宣言／午前9時30分

会場

## 荘川の里 イベント広場

岐阜県高山市荘川町新淵

鮮やかに色づく山里で

30頭の獅子たちが

勇壮な舞を披露します！

# 日本一の 連獅子



招待獅子



旧荘川村中野への宮神社への獅子  
中野獅子伝承  
「夢獅子会」

◆日本一の連獅子

開演時間

●第1回／午前11時30分

●第2回／午後2時

◆町内神社

獅子舞の競演

◆ひねり踊り

◆荘川民謡

同時開催

今年も三年に一度の

## ひねり踊り

縦勢1000人の大行列



このイベントは岐阜県からの補助金を受けています。

※入場の際「郷土芸能保存活動協力金」としてお一人様200円のご協力をお願いしています。



# 第23回 ひだ荘川 ふるさと祭り

平成22年  
日時 **10月17日(日)**  
開会宣言 / 午前9時30分～

会場 **荘川の里  
イベント広場**  
岐阜県高山市荘川町新瀬



## 日本一の 連獅子

鮮やかに色づく山里で  
30頭の獅子たちが  
勇壮な舞を披露します!



※入場の際「郷土芸能保存活動協力金」として1人200円のご協力をお願いしています。

荘川桜は移植されて今年で50周年を迎えました。

荘川桜移植  
**50**  
周年

1960  
昭和35年  
2010  
平成22年

移植当時の荘川桜 現在の荘川桜

御母衣ダムに面した国道156号線沿いの中野展望台にある二本の巨桜は、御母衣ダム建設により湖底に沈む運命にありましたが、多くの桜を愛する人たちの情熱により、世界の移植史上例のなかった老桜の移植を成功させ、毎年ふるさとを偲ぶかのように見事な花を咲かせてくれます。

現在地に移植中の荘川桜

三年に一度の  
**ひねり踊り**  
縦勢100人の大行列

江戸時代後期、神社仏閣の新・改築や大豊作の祝いなどで、大行列風道中を踊り歩いたのが始まりとされている。

昭和8年以来廃れていたのを昭和58年復活。以来3年に一度開催している。警護、露払い、旗、花笠、薙刀、奴、弓引きなど総勢100名が華やかで勇壮な舞を行う行列ですが、大名のいないのが特徴で、農民が大名行列をまねた(ひねった)ものといえます。

昭和8年 荘川神社拝殿落慶式の様子

現在のひねり踊り

招待獅子  
～故郷で舞う!～  
(旧)荘川村中野「一の宮神社」の獅子

飛騨荘川中野獅子「夢獅子会」

昭和34年、御母衣ダムによる水没のため、(旧)荘川村中野に鎮座した「一の宮神社」はその永い歴史を閉じた。当時の中野住民が、移住先の各務原市で永い伝統の中に伝承されてきた数々の地域芸能を、親から子、孫へと受け継いだ。荘川桜のあった中野地区の獅子舞も「夢獅子会」として多くの同土を集め伝承活動を続けている。

今年、「荘川桜」とともに水没移住半世紀を迎え、故郷、飛騨荘川でその勇姿を披露します。

### イベントスケジュール

9時 30分	開会(悪魔払)
9時 35分	獅子舞の競演(第1部)
10時 05分	オープニングセレモニー
10時 30分	荘川民謡
11時 00分	招待獅子「夢獅子会」
11時 30分	日本一の連獅子(第1回)
12時 30分	荘川の地芝居 スタンプラリー抽選
1時 00分	ひねり踊り
2時 00分	日本一の連獅子(第2回)
2時 30分	獅子舞の競演(第2部)
3時 00分	代神楽 フィナーレ (えっさえっさ踊り・あっほ拾い)

